

## 「気候変動×ジェンダー平等 ——CSW66 にむけて」

2021 年 12 月 5 日（日）14～16 時

【登壇者】

**遠藤 理紗**（モデレーター）



（特非）「環境・持続社会」研究センター（JACSES）

事務局次長・気候変動プログラムリーダー

津田塾大学英文学科卒業、英国マンチェスター大学修士課程修了（開発学）。保険・エネルギー関連の民間企業勤務を経て、2014 年から JACSES スタッフ。気候変動・SDGs に関する調査研究・政策提言・普及啓発活動に従事。（一社）SDGs 市民社会ネットワーク事業統括会議進行役、Climate Action Network Japan 役員等も務める。

参考：JAWW 勉強会“気候変動とジェンダー”資料

[https://jaww.info/pkobo\\_news/upload/93-0.pdf](https://jaww.info/pkobo_news/upload/93-0.pdf)

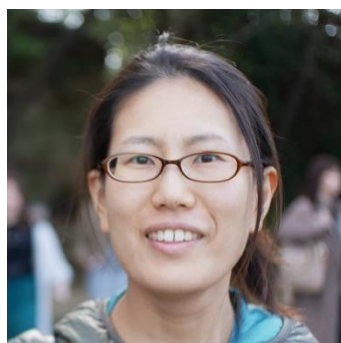
**倉石 東那**

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム(JYPS)アドバイザー

東京大学総合文化研究科国際社会科学専攻修士 1 年。若者による国際会議への参加機会を拡大する JYPS の事務局長を 2021 年 9 月まで務めた。2020 年 6 月に環境大臣にコロナ後の環境政策に関する提言書を手交、8 月に第 5 次男女共同参画基本計画策定に伴いユース提言を内閣府男女共同参画担当大臣に手交、2021 年 2 月中長期の気候変動対策検討小委員会にて、意思決定への参画や脱炭素政策に関する若者の意識状況について発表した。



**天沼 伸恵**



（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）サステナビリティ統合センター 副ディレクター

2013～2017 年に国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）に勤務し、SDGs プロセスの策定から実施、フォローアップやレビューまで幅広く担当。現在は IGES にて、SDGs に関する国内外の動きを調査するほか、政府・企業だけでなくひとりひとりも含めた多様な組織や人々が協力して SDGs を達成するために必要なことを研究している。主な著書に『SDGs の手法とツールがよくわかる本』（共編著、2020 年）。ピッツバーグ大学国際開発学修士。